

## 「山口市障がい者活躍推進計画」に関する目標の達成状況及び 取組の実施状況について

### 1 数値目標

#### (1) 採用に関する目標（実雇用率）

評価年度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
法定雇用障がい者数の算定基礎となる職員数	2144人	-	-	-	-
障がい者数	62.5人	-	-	-	-
実雇用率	2.92%	-	-	-	-
法定雇用率	2.80%	-	-	-	-
達成状況	達成	-	-	-	-

※実雇用率は翌年6月1日時点

#### (2) 定着に関する目標（定着率）

評価年度	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
正規職員	100.0%	-	-	-	-
会計年度任用職員	100.0%	-	-	-	-

※職場環境等を理由とする離職者

※定着率は、評価年度の4月1日から翌年3月31日までの間に採用された者の翌年6月1日における定着率

(例：令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に採用された者の令和6年6月1日における定着率)

### 2 障がい者の活躍推進に向けた取組（令和5年度）

#### ●推進体制の整備

##### (1) 相談先の確保

- ・「障害者職業生活相談員」を配置。

市長事務部局 2名、上下水道局 1名、教育委員会事務局 1名

- ・庁内相談窓口（障がい者雇用推進室（職員課））として必要に応じて面談を実施した。

##### (2) 障がい者理解の促進

- ・課長補佐級以下の職員に対して「障がいに関する理解促進・啓発のための研修」を実施した。

#### ●職務の選定・マッチング

- ・正規職員採用選考に当たり、障がいのある者を対象とした試験及び採用前面談を実施した。

- ・「ワークステーション」において、庁内各課の定例的な業務を集約し、障がいのある職員の適正に合わせて業務を実施した。

●職場環境の整備

障がいのある職員が安心して働ける環境を整え、能力・意欲を最大限発揮していくため、障がい特性等を把握し、合理的配慮等を踏まえた対応を行った。

(事例)

- ・既存の椅子では身体への負担が大きいため、長時間座っていても身体への負担が少なく、動作がしやすい椅子を購入。

●管理監督者との面談の実施

- ・定期的に所属長による面談及び障がい者雇用推進室が面談を実施し、状況把握・体調配慮を行った。

●職員の採用・育成等

- ・「ワークステーション」において、特別支援学校の生徒を受け入れ職場実習を行った。